

男女共同参画推進協議会(第12次)議事録 (第3回)

開催日	令和8年6月24日(水) 14:00～16:10	場 所	男女共同参画センター4階ホール
出席者	・委 員:山田委員(副会長)、石田委員、川田委員、田中委員、松村委員 水戸委員、室園委員、山本委員 ※欠席:酒井委員、彦坂委員 ・松戸市:板花課長、事務局(今井、奥石、宮島)		

1 開会

・新任委員の紹介

・事務局の紹介

・副会長あいさつ

2 報告事項

<事務局>

・委員総数10名、出席者8名。

・松戸市男女共同参画推進協議会条例第7条第2項の規定により会議の成立を報告。

・傍聴の申し出は1名。

3 議事

議題:「市民意識調査」について

<事務局:説明>

・実施にあたって

・資料2、市民意識調査の実施について

・資料3、市民意識調査(案)

・資料4～6、児童・生徒アンケート(案)

～主な質疑は以下のとおり～

●市民意識調査(案)について

(山田副会長)

問3、「一日のうち費やす時間は平均してどれくらいか」の設問に何かご意見は。前回の聞き方と変えたということだが。

<事務局>

前回は0分、1分以上1時間未満、1時間以上2時間未満など、それぞれ選択方式になっており、今回は時間を記載する方法に変更した。

(川田委員)

選択2番の「通勤通学か往復」だが、仕事や学校がない日はゼロではないか。

(室園委員)

この聞き方だと結果集計の時どうなるのか。前回との比較をするのであれば、違う見せ方をするのか。あと希望時間を今回聞かない理由が不明。

<事務局>

集計は入力した上で同じような括りでカウントしていく。また今回、希望を聞かないのは、何時間何分では答えづらいのではないかと考えたため。

(山田副会長)

次に問15、「あなたの暮らしと困りごとについて」、こちらは新規項目として挙げているが、何かご意見は。

(水戸委員)

問16-1で、「今後の働き方を変えたいという考えはありますか」について、例えば選択2番、「働き方を変えたいと思わない」と回答して、選択3番、「雇用形態はそのまま労働時間を増やしたい」という回答もありえるのではないか。

<事務局>

回答はひとつのイメージでいた。

(室園委員)

「働き方を変えたいという考えがありますか」で分けて、変えたい人はどう変えたいか、と聞いていくような感じがする。そこで労働時間を減らしたい、または起業したいなど、複数回答でいいのでは。

<事務局>

最初の問16で「あるか、ないか」を聞くとか。

(室園委員)

そして問16-2で細かく聞くなど。

(水戸委員)

問19-1、「誰かに相談したことがありますか」で、どこへ相談したかを聞いてから、「困難な状況が回復するためにどんなことが必要だと思いますか」と聞く方が、流れとして答えやすいと思う。

<事務局>

前回の回答状況を踏まえ、今回は「どこへ相談したか」を削除している。

(室園委員)

そこは聞いてもいいような気はする。

(水戸委員)

答える方からすると「相談した」、次は「どこに」「誰に」があって、そして、しなかった人は「どんなことが必要か」、だと答えやすいのではないか。

(室園委員)

関連して問19-2、「相談しなかった理由」の選択1番、信頼できる相手が「機関、窓口」となっているが、家族や友人はいないとも読めるので、そこは分けられないか。

<事務局>

「相手」「機関」「窓口」だったらいいのかもしれない。

(石田委員)

問18、選択10番「その他」で、選択11番が「あてはまるものはない」となっているが、それは「困っていません」という意味か。

<事務局>

「困っていることはない」に変更したほうがいいか。

(石田委員)

例えば、「困っている」「困っていない」「ありません」からスタートするとわかりやすい。もしくは「困っていることがない」にするとか。

(室園委員)

酒井委員提案の健康上のことは追記したほうがいい。

(石田委員)

「次のようなことで困っていることはありますか」は、質問の意図として、この中で困っていることを聞きたいのか、それとも、その人の困っていることを聞いたのかで質問の仕方が変わってくる。この中で「困っていること」があるのかを聞きたいのであれば、選択肢の「その他」はいらない。でも困っている内容を聞きたいのであれば、「その他」を入れる。

<事務局>

例えば「次のようなこと」を削除して、「ある」「無い」に分けるか、もしくは選択1番を「困っていることではない」にして、選択2番以下に理由を回答してもらうとか。

(山田副会長)

問16、「会社員、公務員などの常勤職」について、「契約社員」や「フルタイム」等のことも考えると「常勤職」だとわかりづらい。「正規労働者」が受け方としてはいいのでは。

あと問16-1、選択7番、「起業したい」だが、「起業」だけだとフリーランス等で働きたい方の選択肢がなく回答しづらいので、『『起業』『個人事業主』『フリーランス』などの雇用されない働き方』とかにした方がいい。

それから問17、「あなたのお宅で主に家計を支えている」は、「子ども」という選択肢もありえるのではないかと。

<事務局>

事務局としては、子どもは「その他」で記載するイメージ。

(室園委員)

問16、「あなたは現在、収入のある仕事をしていますか」は、2つあてはまる人がいるのでは。例えば副業している人は選択1番と2番とか、選択1番と3番とか。

(山本委員)

実際、非常勤職員をやりつつ社会保険労務士の方などがいる。兼業副業は政府でも進めているところ。なお「正規労働者、非正規労働者」だが、厚労省では「正規雇用労働者、非正規雇用労働者」で統一している。

(山田副会長)

主の仕事を聞きたいのであれば注意書きが必要。もしくは2つ該当がある場合に○がつけられるよう「○は1つ」を削除する。

(室園委員)

「男性」「女性」で違いを見たいのか。また収入のある仕事の有無で、「雇用労働」か「他の働き方」を見たいのか。

(山田副会長)

次回、改めて提案していただきたい。次に問19、DVに関する設問について。

(山本委員)

問20、「女性が困難な状況」の「女性」は「あなた」でもいいとは思ったが。

(水戸委員)

これは「女性」でも「男性」でも、女性が困難な状況から回復するために必要なことを聞きたいのか。

<事務局>

意図としては、「男性」から見てもどんな考えがあるか聞きたい。

(田中委員)

この設問も前提が必要。

(室園委員)

「困難女性支援法」を踏まえた設問とか。

(水戸委員)

それだと事務局の意図も伝わる。

(山田副会長)

そちらは追加してほしい。

次に問24、「災害時の男女共同参画の一番重要なことは何か」は、前回までは○が1つだったが、2つにしてはどうかとのこと。ただ一番重要なことを聞きたいのであれば、○は1つのままとなるが。

それから問26については、今回、「子どもが性別にとらわれず育つよう家庭でも積極的に取り組んでいきたいと思う」という表記に変えた、また「学校でも積極的に取り組んで欲しいと思う」という選択を1つ増やしたとのことだが。

(室園委員)

ここも、「いいと思う」「良くないと思う」があって、それをやるのは「家庭」と「学校」みたいな聞き方でないと答えにくいのでは。○は2つまでの意味はそういうことだと思う。「賛成」「反対」を聞いて、それを「学校」「家庭」、または「地域」でやるのか、そしてどこで教育をしたらいいか、という聞き方はどうか。

<事務局>

「家庭」でやっていくけれど、「学校」でもやって欲しいと思っているのかを把握したい。

(山田副会長)

「取り組んでいきたいと思う」について、回答者には子どもが居ないという可能性もあるが、そういう方にも、「家庭」でも「学校」でも取り組んで欲しいのか、また「家庭」だけでいいのか、「学校」だけでいいのかなどを聞きたいのか。この設問の意図は「賛成」か「反対」か、ということか。

<事務局>

「賛成」か「反対」だけではなく、自分でやる気があるかどうか。

(室園委員)

まず「賛成」「反対」を聞いて、次に自分でやるかどうかを聞いたほうがいいかもしれない。

(川田委員)

賛成だけど、「学校」でちゃんとやってほしいとか。

(田中委員)

聞き方として「家庭」でも積極的に取り組んだ方が良くとか。

(石田委員)

社会全体でも、そちらを目指したいのではないか。

(室園委員)

「子どもが性別にとらわれず育つようにすることは賛成できない」などの言い回しは、すごく難しいように感じる。

<事務局>

そこは整理する。

(山田副会長)

あと〇は1つか、それとも2つか、その辺りもお願いしたい。

(室園委員)

問25、「災害が起きた時、避難所生活等…」について、酒井委員提案の選択7、「その他」はどうするのか。

<事務局>

例えば騒音等の対策が必要ではないかという観点で、具体的な対策を追加したらいいのではと思った。

(水戸委員)

この設問は、市民が誰に何をしたいのかを聞いているのか。

(室園委員)

もしくは回答者が男性か女性かで、意識が違うことが見たいのか。

(田中委員)

前回結果では男女差が出ている。

(石田委員)

女性側と男性側の視点は違ったりする。

(山田副会長)

この設問は、男性女性別にどういったことが配慮として必要かを聞きたいということでもいいか。

<事務局>

広く言えばLGBTQの配慮とか、障害とか子ども、また外国人の配慮なども必要なのかもしれないが、そうすると男女共同参画プランから離れ広くなり過ぎるので絞っている。

(山田副会長)

次回、改めて見解を聞きたい。

<事務局>

もう少し整理する。

(山田副会長)

問29、「松戸市ではどのような施策を行うべきか」について、選択肢8番を「生涯を通じた健康支援」に修正したとのことだが、何かご意見は。

(室園委員)

「生涯を通じた健康支援」だと何でも有りにならないか。

<事務局>

今回の国の基本計画では、健康について重視している。母性保護に関する健康対策は、男女共同参画プランとして大事であるが、さらに健康についての設問の中で、身体健康、心の健康、更年期も含め「女性」も「男性」も、という視点で入れた。

●児童・生徒アンケート(案)について

<事務局>

小学6年生の問12及び問13の「デートDV」は小学生への質問有無について、意見を伺いたい。

(山田副会長)

小学生に聞いてしまうことにより、怖いと感じてしまう可能性があるのではないか、入れないほうがいいのではないかとの提案だが、何かご意見は。

(室園委員)

ちなみにつき合ってなくても、もしこういうことがあったらどう思うかを想像で答えるということか。

<事務局>

その場合は「C」にチェックする。

(山田副会長)

こちらについては異議がなければ設問は入れないこととする。

<事務局>

それから中学2年生、問14-1、「相談していない理由」は聞かなくていいか。

(室園委員)

「相談しない」ではなく「どうしたら相談しやすいと思うか」、みたいな聞き方であれば。

(山田副会長)

事務局では、相談していないことを責めている感じにならないかと心配して削除したということ。「しなかった」と「できなかった」があると思う。選択肢として、「相談した」「相談しなかった」「できなかった」の選択肢にすれば、理由を聞いても責めるような言い方にはならないのではないか。

<事務局>

「相談したかった(できなかった)」、でどうか。

(水戸委員)

「相談した」、「相談できなかった」、「相談しなかった」、だと思う。

(石田委員)

理由はあえて聞かないで、子どもたちが「相談したい」のか、「したくない」のか、「したいができない」のが見えればいいと思う。

(室園委員)

中学2年生、問14、「どこに相談しますか」について、前段の問10から問13の設問が、最初に「痴漢」、次に「SNS」、そして「デートDV」となっているので、問14の設問が「デートDV…」からになっていると、これに限定しているようには見えないか。

問10から問13まで聞いてきたことに対して、「相談するとしたらどこか」がわかるといいのではないか。その辺のバランスが気になる。

(山田副会長)

全体に対して、何かあったときに「相談をしたのか」、「しなかったのか」、「できなかったのか」を聞くのか、それとも1つ1つに対して聞くのか。

<事務局>

1つ1つではなくていいと思う。

(室園委員)

問10-1と問11-1は削除し、問13の次に「誰かに相談しましたか」を入れて、問14で「どこに相談しましたか」、でどうか。

<事務局>

修正する。

あと中学2年生、問4、「おうちの人に言われることはあるか」の選択ウ、「行儀」という言葉について。

(室園委員)

「行儀」じゃなくて「態度」とか。

(水戸委員)

「言葉遣いや態度に気をつけなさい」というのは今でも言う。

(山田副会長)

項目は削除せず文言の修正。

次に高校生についてはどうか。

(室園委員)

学校でどういう状況かを知りたいのか、それとも職場でその年代の子の状況を知りたいかで変わってくると思う。職場も含めると設問を全部修正しないといけない。

<事務局>

学校のことを知りたいので、答えられない質問や当てはまらないものについては飛ばしてくださいなど、注意書きでわかりやすくする。例えば就職している人なら、該当する設問に進めるようにするなど。

(室園委員)

例えば問4、「学校や家の中で…」はどちらに聞いてもいい気はする。ただその場合、選択ウや選択エの表現を変えないといけない。

(水戸委員)

ターゲットが「17歳」なのか「高校生」かによって違う。高校生だったら高校生に限定して、それに該当しない方は考えないほうがいいのか。両方だとブレていく気がする。

(山田副会長)

調査対象の選定方法は。

<事務局>

高校生がターゲットだが年齢での抽出となるため、結果として高校生以外も若干いると思う。

(石田委員)

問2、「あなたは今学生ですか」で、「就職している」は不要ではないか。答えたくない人は答えなくていいと思う。もし高校生をターゲットしているのであれば、「学生ですか」、「はい、いいえ」みたいな。

(水戸委員)

ネットアンケートであれば、「あなたは今、高校生ですか」「それ以外」にすれば、それに応じて該当する設問に進んでいくようシステムを設定すればいい。

(山田副会長)

システムで対応するということであれば、設問は大丈夫そう。

<事務局>

整理する。

(田中委員)

戻るが、中学2年生、問11の「SNSで嫌な思いや怖い思いをした」の選択8番の「気遣いなど…」は、選択1から7までが「された」で、選択8は種類が違うものだが、このままでいいとは思っている。ただ知りたいことがジェンダー格差であるならば、選択1から7とは違うものと認識をもって入れたほうがいいかなと。

<事務局>

「気遣いなど」を削除して。

(田中委員)

「気遣いなど」だと何か心やさしい感じがするが、多分そういう話ではないと思う。

(室園委員)

中学2年生、問10、「家や学校の周り外出先」とは、全部ではないか。

(山田副会長)

嫌な思いや怖い思いをしたかを聞きたい設問。声をかけられるとか、体をさわられるなど不快な思いをしたかなど。

<事務局>

そのとおり。

(水戸委員)

誰かに体をさわられたりして嫌な思い、怖い思いをしたことがあるか、だとしたら、それは家の中の人かもしれないし、家の外の人かもしれない。

(松村委員)

その安心安全については、知っている人であれば、そこまで嫌な思いをしないとは思う。

(山田副会長)

次回も引き続き調査票について審議していく。

4 閉会

～会議終了～

【配付資料】

- ・資料1 松戸市男女共同参画推進協議会 委員名簿
- ・資料2 令和8年市民意識調査について
- ・資料3 市民意識調査(案)
- ・資料4 児童・生徒【小6】アンケート(案)
- ・資料5 児童・生徒【中2】アンケート(案)
- ・資料6 児童・生徒【高2】アンケート(案)